

報道関係者各位

平成 26 年 6 月 19 日

株式会社ヒューマンテック

=====

日本初！株主総会でリアルタイムに議決権行使の結果を表示、正確なデータをその場で提示。本年6月から導入
まる。

=====

株式会社ヒューマンテック（東京都港区・代表取締役 齊藤正治）が開発した「株主総会議決権行使システム（略
称・V.S.O.P.）」の運用サービスを本年の6月の株主総会にて実施いたしました。

<<経緯>>

株主総会の議決権行使をリアルタイムに行うことができ、総会中に投票結果を正確に提示することが可能となり
ました。このシステムを使うことで、透明性の高い株主総会が実現でき、株主動向の分析や IR 活動の強化に役立た
せることができます。

株主総会は、2009年10月に東京証券取引所が株主総会のすべての議案に対し議決権行使結果の開示を会員
企業に要請し、翌2010年3月には内閣府令「企業内容等の開示に関する内閣府令」株主総会において決議事項
が採決された場合、議決権行使結果を記載した臨時報告書の提出が求められるようになり、株主総会の透明性を強
化するように要求されている。

また今までは、通信技術の制約のため不可能とされていたリアルタイムの投票ですが、ヒューマンテックが開発
した紙製 IC カードと通信技術を融合することにより実現が可能となりました。システムでは座席に座ったまま議
決権行使を行い質疑応答も可能となっており、株主の負担も少なく総会運営者の手間も省けます。本製品は3月19
日に大手町カンファレンスセンターで発表会を行いました。既に6月の株主総会にも採用されています。

<<運用サービスの特徴>>

従来の無線LANでは難しいとされていた一度に数千人規模の議決権行使をも可能にし、リアルタイムに通信する技術を確立しました。これまでの無線LANの技術では、1つのアンテナに対して約100～125の呼が集中すると反応しなくなりました。ヒューマンテックはこの呼の限界点から級数的に処理能力をあげる技術を独自に開発し、数千の呼が集中しても対応することが可能となりました。(ヒューマンテック特許申請中)

これにより受付作業も含め出席株主数1人あたり2,000円～10,000円での低コストで運営することができます。またこの技術を使うことで株主総会での質疑応答にも、どの株主がどこの座席に座っているかを事務局側で即座に判断することが可能となり、質疑応答時にも株主の指名にも力を発揮します。

<<市場>>

本ビジネスは、株主総会という特殊な市場性があり、初年度は総会の受付業務を中心に、5年を目処に毎年20億円～30億円と見込んでいます。周辺業務も含めると毎年100億円～130億円規模が期待できる。

お問い合わせ=====

株式会社ヒューマンテック

〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-15 赤坂OSビル1階

TEL03-5114-1370 FAX03-5114-1371

担当：辻村 tsujimura@humantech.org

ホームページ <http://www.humantech.org>